

ONE

OCEAN NETWORK EXPRESS

2025年度第 1 四半期決算説明資料

2025年8月1日

1.	2025年度第1四半期決算概要	P.3
2.	主要航路別積高・消席率・運賃指数	P.4
3.	2025年度通期見通し	P.5
4.	足元の事業環境の変化への対応	P.6
5.	参考資料（船隊構成、航路構成、新造船発注残）	P.7
6.	Appendix 北米航路運賃・荷動き推移	P.8

1. 2025年度第1四半期決算概要

□ 要点

第1四半期は、関税を巡る不確実性を背景に、運賃下落や荷動き変動が見られ、前年同期と比較し不安定な状況が続いた。困難な事業環境となるも、第1四半期は86百万US\$の黒字。

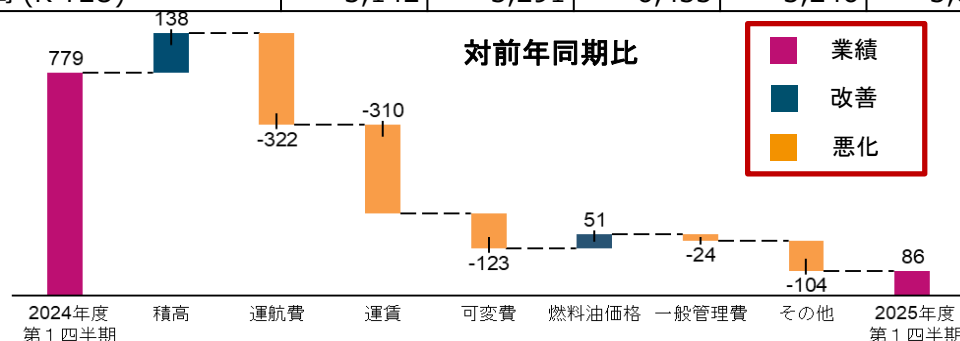
- 喜望峰経由ルートの利用長期化が続く一方、新造船竣工が進んだことで船腹供給量が増加した。
- 荷動きは、米国による4月の相互関税発表に伴い減速する一方、米中が5月に90日間の関税引き下げに合意したことで増加に転じた。
- 90日間の関税引き下げ措置に伴い、北米航路における船腹供給量が増加した。

□ 2025年度1Q実績並びに対前年同期比較

(単位: 百万 US\$)

	2024 年度							2025 年度	対前年同期比		対前期比	
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	下期 実績	通期 実績	1Q 実績	増減	増減 (%)	増減	増減 (%)
売上高	4,211	5,864	10,075	4,846	4,312	9,158	19,233	4,049	-162	-4%	-263	-6%
EBITDA	1,217	2,386	3,603	1,583	781	2,364	5,966	616	-601	-49%	-165	-21%
EBIT	667	1,865	2,532	1,049	223	1,272	3,804	38	-629	-94%	-185	-83%
税引後損益	779	1,999	2,778	1,156	309	1,465	4,244	86	-693	-89%	-223	-72%

燃料油価格 (US\$/MT)	\$594	\$585	\$589	\$557	\$546	\$552	\$570	\$535	-\$59	-10%	-\$11	-2%
総燃料消費量 (K MT)	900	969	1,869	950	942	1,893	3,762	950	50	6%	8	1%
総積高 (K TEU)	3,142	3,291	6,433	3,246	3,071	6,317	12,750	3,165	23	1%	94	3%



- 積高 : 対前年同期比で微増。
- 運航費 : 船舶費用と港費の増加。
- 運賃 : 不確実性の高まりによる運賃下落。
- 可変費 : 荷役費上昇による可変費増加。
- 燃料価格 : 対前年同期比で下落。
- 一般管理費 : 対前年同期比で増加。

2. 主要航路別積高・消席率・運賃指数

航路別積高・消席率		2024年度							2025年度
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
北米往航	積高 (千TEU)	673	730	1,403	713	633	1,345	2,748	672
	消席率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	94%
欧州往航	積高 (千TEU)	434	451	886	418	426	845	1,730	456
	消席率	100%	97%	98%	93%	90%	92%	95%	90%

北米復航	積高 (千TEU)	290	281	571	271	254	525	1,096	217
	消席率	43%	39%	41%	40%	37%	38%	40%	27%
欧州復航	積高 (千TEU)	245	244	490	237	249	487	976	247
	消席率	48%	45%	46%	47%	44%	46%	46%	35%

(2018年度1Qの各航路総平均運賃を100とした指数)

運賃指数		2024年度							2025年度
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
北米往航		137	195	167	159	146	153	160	131
欧州往航		201	293	248	218	204	211	230	154

- **積高・消席率:** 北米往航の積高は前四半期比で増加。関税を巡る不確実性を背景とする需要変動、90日間の関税引き下げ措置に伴う駆け込み需要、それによる北米航路の船腹増加など、複合的な要因が作用した。欧州往航は、前四半期における旧正月後の需要落ち込みから増加に転じた。
- **運賃指数:** 短期運賃は北米往航・欧州往航ともに前四半期から下落した。

3. 2025年度通期見通し

□ 要点

- 2025年度通期の業績見通しに関し、現在のグローバル環境は極めて不透明である。
- 紅海における足元の状況が示す通り、セキュリティ上のリスクが依然として存在している。引き続き、喜望峰経由での迂回ルートの利用が見込まれ、グローバルサプライチェーンへの負荷が継続する見通し。
- また貿易環境の不透明さが、下期の見通しを一層困難にしている。
- 全体の事業環境は、当初の想定ほど堅調とはならない可能性があるが、引き続き状況を注視し、変化する環境にも柔軟に対応できるよう、オペレーション上での機動性を維持していく。

□ 2025年度通期見通し

(単位:百万 US\$)

前回予想			
	上期	下期	通期
売上高	9,000	8,500	17,500
EBITDA	1,600	1,300	2,900
EBIT	500	200	700
税引後損益	750	350	1,100

(単位:百万 US\$)

今回予想			
	上期	下期	通期
売上高	8,800	8,300	17,100
EBITDA	1,500	1,100	2,600
EBIT	400	0	400
税引後損益	550	150	700

4. 足元の事業環境の変化への対応

発生事象

- 米国が4月に、相互関税の導入を発表。その後、米国通商代表部（USTR）は入港料を含む様々な報復的措置の導入を発表した。
- アジア/北米航路では、関税に起因するサービス頻度の見直しとその後の回復により、船腹量の変動が見られた。
- 不安定な地政学的環境が続く中、喜望峰経由の迂回ルート利用が続いた。またホルムズ海峡周辺では、地域における紛争を背景に安全上の懸念が強まった。
- 欧州およびアジアの主要港湾では、ストライキやコンテナヤードの容量逼迫、天候不順、労働力不足などに起因する混雑が常態化している。



ONE の対応

- イールドマネジメント強化と収益の最大化に向け、継続的な貨物ポートフォリオと配船の見直しを実施。
- 紅海/アデン湾情勢によるサプライチェーンの混乱を最小限に抑えるべく、機動的な対応を維持。
- 米国を取り巻く不透明な情勢や、それらに関連する動きを注視し、顧客およびサービス品質への影響を最小化。
- 各地の港湾混雑に伴うサプライチェーンの混乱の影響を最小化すべく、機動的な対応を実施。



荷動きに応じた柔軟な配船およびコンテナフローの最適化によりオペレーション効率を最大化

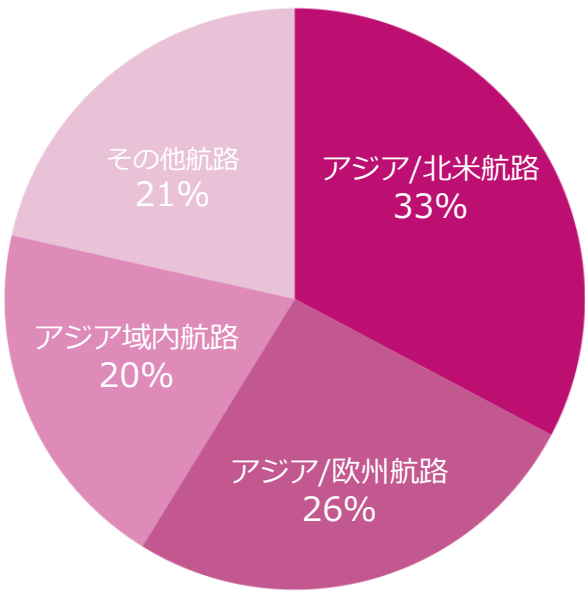
5. 参考資料（船隊構成・航路構成・新造船発注残）

船隊構成

Size					1) 2025年 3月末時点	2) 2025年 6月末時点	2)-1)	
20,000	TEU	>=		Capacity (TEU)	264,600	264,600	0	
				Vessels	12	12	0	
10,500	TEU	-	20,000	Capacity (TEU)	685,320	741,096	55,776	
				Vessels	49	53	4	
9,800	TEU	-	10,500	Capacity (TEU)	110,200	110,200	0	
				Vessels	11	11	0	
7,800	TEU	-	9,800	Capacity (TEU)	329,257	337,720	8,463	
				Vessels	37	38	1	
6,000	TEU	-	7,800	Capacity (TEU)	247,681	240,665	-7,016	
				Vessels	37	36	-1	
5,200	TEU	-	6,000	Capacity (TEU)	28,116	28,116	0	
				Vessels	5	5	0	
4,600	TEU	-	5,200	Capacity (TEU)	78,068	78,068	0	
				Vessels	16	16	0	
4,300	TEU	-	4,600	Capacity (TEU)	62,869	62,869	0	
				Vessels	14	14	0	
3,500	TEU	-	4,300	Capacity (TEU)	66,574	70,984	4,410	
				Vessels	16	17	1	
2,400	TEU	-	3,500	Capacity (TEU)	103,494	106,549	3,055	
				Vessels	38	39	1	
1,300	TEU	-	2,400	Capacity (TEU)	23,599	25,393	1,794	
				Vessels	14	15	1	
1,000	TEU	-	1,300	Capacity (TEU)	14,976	16,025	1,049	
				Vessels	14	15	1	
0	TEU	-	1,000	Capacity (TEU)	0	0	0	
				Vessels	0	0	0	
合計					キャパシティ(TEU)	2,014,754	2,082,285	67,531
					隻数	263	271	8

航路構成

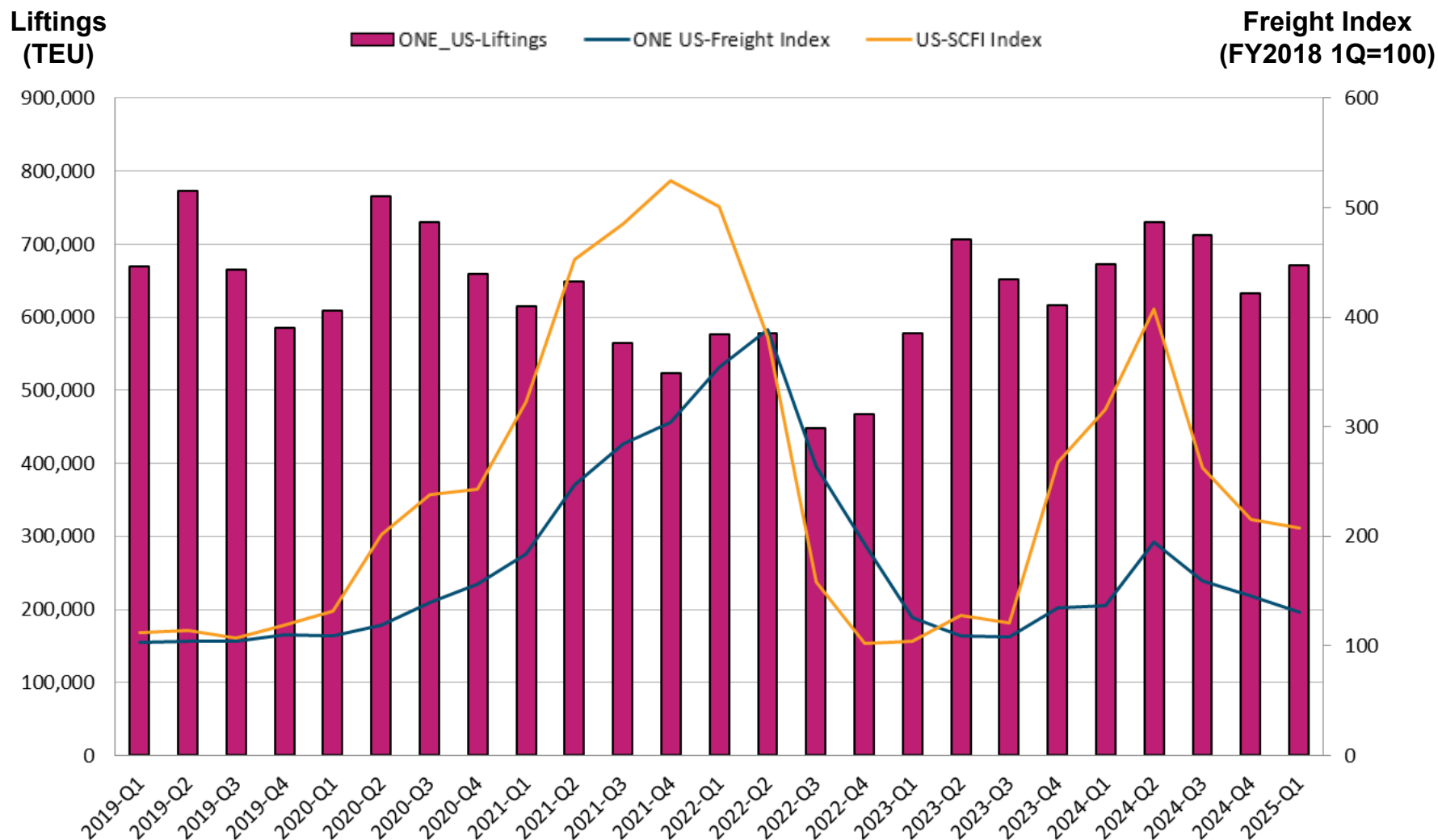
(2025年度1Q 往復スペースの構成
アロケーション)



新造船発注残（新造長期傭船含む）

	2025年 3月末時点	2025年度 1Q デリバリー	2025年度 1Q 新規発注	2025年 6月末 時点
新造船発注残 (隻数)	49	5	10	54

6. Appendix 北米航路運賃・荷動き推移



TPEB : Transpacific Eastbound